

東伯総合公園サッカー場の芝改修

コスト比較とスケジュール(案)

■人工芝と天然芝の概算コスト比較

単位:千円

項目		人工芝	天然芝
A	初年度イニシャルコスト	210,320	116,600
財源	サッカー協会	45,000	→(15,000千円)
	スポーツ振興くじ	48,000	30,000
	町負担	117,320	86,600
B	10年間ランニングコスト	11,550	48,147
財源	町負担	11,550	48,147
C	10年間総コスト A+B	221,870	164,747
財源	町負担	128,870	134,747

※人工芝張替による大規模改修費用は含めていません。(概算1億円)

■スケジュール (案)

	R3年度										R4年度	
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
改修事業		設計										工事

東伯総合公園サッカー場の芝改修

東伯総合公園配置図



東伯総合公園サッカー場の芝改修

大山町の山香荘の運営、平岩記念会館に対する民間事業者の主な意見

■大山町 夕陽の丘神田 山香荘の運営

単位:千円

	利用料収入	指定管理料	指定管理者収入計
H30	6,614	20,000	26,614
H31	6,637	20,185	26,822

利用料収入=指定管理者の収入。
指定管理料=大山町が指定管理者へ支払う委託料。

※大山町は、左記の指定管理料に加えて別途老朽化に伴う改修工事費を支出。

■平岩記念会館に対する民間事業者の主な意見(R2実施 東伯総合公園サウンディング型市場調査より)

公募型アンケートへ11社が回答。そのうち公園全体の施設運営を希望した3社へ平岩記念会館についてヒアリングした。その結果、改修を行っても投資改修は困難、飲食や宿泊施設としての運営は人員配置が必要となり難しいという意見であった。

PFIによる東伯総合公園の改修・運営において、平岩記念会館は改修が必須の施設としないことを予定している。

A社	B社	C社
①平岩記念会館の利用用途について。収容人数40人を考慮。		
・コロナ禍を考慮すると、2人部屋への改修が望ましい。	・複数チームの対応困難。 ・単独チームの合宿利用。	・複数チームの対応困難。 ・単独チームの合宿利用。 ・大部屋で無理な収容は困難。
②平岩記念会館の改修に対する考え方、投資回収について		
・投資回収は困難。	・増改築しても、大幅な集客増は困難。 投資回収も困難。	・新たな利用者呼び込むには増改築必須だが、投資回収は困難。
③平岩記念会館の有無が本公園の集客に及ぼす影響について		
・平岩記念会館が公園内になくても、宿泊施設への移動時間が30分圏内であれば問題ない。	・現状では判断不可能。 ・宿泊施設として常時受け入れることは、人員配置が必要となり、難しい。	・施設運営に影響無し。 ・飲食を伴う宿泊施設運営は、人員配置が必要となり、難しい。